

報道の取り扱い

①テレビ・ラジオ・ネット 令和7年2月10日（月） 15:00 解禁

②新聞 令和7年2月11日（火・祝） 朝刊 解禁

令和7年度 丹波県民局主要施策（案）

令和7年2月6日
兵庫県丹波県民局

目次

令和7年度施策のポイント 1

◆「森」の保全と活用―守り、活かす―

- 〔拡〕①丹波の里山づくり促進事業（アクティブ・フォレストプロジェクト） . . . 1
- 〔拡〕②丹波の環境パートナーシップづくり 2
- ③桜つつみ回廊の美観保全 2

◆集落、まちの創生―居心地の良い「場」の創出―

- ①活力ある農村集落づくりの推進 2
- （〔新〕「丹波地域の農地整備ビジョン」の策定、
地域でため池を守るプロジェクト）
- ②まちの拠点創造プロジェクト 2
- 〔新〕③移住・定住促進支援事業 3
- 〔拡〕④JR加古川線維持・利用促進事業 3
- ⑤学生等による地域貢献活動の推進 3

◆新しい産業、事業が生まれ続ける価値創造の風土づくり

- 〔拡〕①兵庫丹波ブランド農産物の生産振興強化 3
- 〔拡〕②先端技術等を活用したスマート農業の推進 3
- ③兵庫丹波ブランド農産物の魅力発信 3
- ④丹波の地酒魅力向上事業 3
- ⑤食文化ツーリズム・プロジェクト 4
- ⑥四季の丹波「コト体験」の充実 4
- 〔拡〕⑦丹波広域観光の推進 4

- ⑧恐竜化石フィールドミュージアムの推進 4
- （〔新〕恐竜スポット周遊二次交通の整備）
- ⑨丹波すぐれもの大賞 -TAMBA INNOVATION AWARD- . . . 4
- ⑩人材確保・産業立地推進事業 4
- ⑪「シリ丹バレー」構想の推進 5

◆柔軟な働き方が可能な社会の形成

- ①「シリ丹バレー」構想の推進（再掲） 5
- （民間副業人材の活用、ユース起業アカデミーの開催）

◆創造的人材の育成・活用と地域文化力の向上

- ①グローバル丹波2025推進事業 5
- 〔新〕②万博関連戦略プロモーション事業 6
- 〔新〕③TAMBAのもりびと10万人計画 6
- ④たんばユース躍動プロジェクトの推進 6
- 〔拡〕⑤シューベルティアアードたんばの支援 6
- 〔新〕⑥集落文化発掘・体験事業 6

◆人と人とのつながり拡大と新たなコミュニティの出現

- ①丹波2050地域ビジョン推進事業 6
- ②たんばユースチームの活動推進 6
- ③「シリ丹バレー」構想の推進（再掲） 7
- （スマート・コミュニティプロジェクト、
丹波型事業共創コミュニティ形成事業の実施）

令和7年度施策のポイント

★は新たな取組

◆ 丹波2050地域ビジョンの推進－シンボルプロジェクトの展開加速化

- 「丹波の森構想」の継承と進化に向け、「丹波2050地域ビジョン」のシンボルプロジェクトの着実な推進を図るとともに、地域の次代を担う若者らの意見を取り入れながら取組を推進する
- 地域ビジョン推進組織「プラットフォームTAMBA」によるプロジェクト間の連携の促進
 <丹波2050地域ビジョン推進事業、★TAMBAのもりびと10万人計画、★集落文化発掘・体験事業、シリ丹バレー構想等>

◆ 2025大阪・関西万博とその後に向けた誘客促進

- 周遊観光バスや鉄道駅からの二次交通の整備、JR加古川線の利用促進などに取り組むとともに、丹波地域のフィールドバピリオンなどを情報発信することにより、万博閉幕後も丹波地域へ誘客促進に持続的に取り組む
 <グローバル丹波2025推進事業、★万博関連戦略プロモーション事業、★恐竜スポット周遊二次交通の整備、丹波広域観光の推進、JR加古川線維持・利用促進事業、シューベルティアードたんばの支援>

◆ 事業創造による関係人口拡大、移住環流促進、集落活性化

- シリ丹バレー構想での事業創造を通じて、関係人口（副業人材等）拡大、二地域居住、移住環流を促進するとともに、集落の活性化に取り組む
 <★移住・定住促進支援事業、シリ丹バレー構想：たんばLPSチャレンジ開催、スマート・コミュニティ・プロジェクト、丹波型事業共創コミュニティ形成事業の実施>

◆ 若者とともに進める地域づくりの推進

- 未来を担う若者へのふるさと教育や起業教育を進め、若者の活動の場づくりや若者のアイデアを地域づくりに活かす取組を推進するとともに、地元企業の魅力発信による若者人材の確保に取り組む
 <まちの拠点創造プロジェクト：まちの居場所づくり、人材確保・産業立地推進事業、シリ丹バレー構想：ユース起業アカデミー、学生等による地域貢献活動の推進、第2期たんばユースチーム>

◆ 丹波地域の農産物の更なるブランド化への推進

- スマート農業技術の導入や丹波地域に適した農地整備を進めるとともに、丹波ブランド農産物の有機農業への取組支援や生産強化・魅力発信に取り組む
 <★「丹波地域の農地整備ビジョン」の策定、丹波ブランド農産物の生産振興強化・魅力発信等>

令和7年度丹波県民局主要施策

◆ 「森」の保全と活用－守り、活かす－（4,654千円）

① 丹波の里山づくり促進事業〔拡充〕 （アクティブ・フォレスト・プロジェクト）

「丹波の森宣言」の趣旨を引き継ぎ、「美しい里山」を次の世代へ繋いでいくため、丹波地域の生物多様性の保全やSDGsの取組を推進する。

- ・ 森を未来につなぐフォーラムの開催
- ・ 里山活動団体へのアドバイザー派遣による里山林の整備手法や企画・運営、木の駅プロジェクトとの連携支援
- ・ 里山ワンストップ窓口としてのWEBサイト「森機応変」の運営
- ・ 丹波の森公苑等での里山育成手法の調査研究



木の駅プロジェクト



WEBサイト「森機応変」

② 丹波の環境パートナーシップづくり〔拡充〕

平成25年に県、市、住民団体等が連携して環境保全を推進するために「丹波地域環境パートナーシップ会議」を設置し、貴重な動植物の保全・再生意識の高揚、環境学習を実践することで、SDGsに幅広く取り組んでいる。

- ・丹波地域の自然（里山、河川、生物等）を活かした環境学習プログラムの提供
- ・生物多様性保全の重要性等について学び、丹波地域でのネイチャーポジティブを実現するためのセミナーを実施し、SDGs達成を目指す。



セミナーでのパネルディスカッションの様子

③ 桜つつみ回廊の美観保全

桜つつみ回廊の保全活動を行う住民団体への補助を行い、長寿命化を図る。



篠山川沿いの桜つつみ



桜つつみ回廊位置図

◆ 集落、まちの創生－居心地の良い「場」の創出－ (15,079千円)

① 活力ある農村集落づくりの推進

(「丹波地域の農地整備ビジョン」の策定〔新規〕、地域でため池を守るプロジェクト)



ため池かいぼり（畑池）

- ・次代の農業経営にマッチした農業基盤整備に向けて、農業用施設にかかる維持管理の現況調査や丹波地域に適した農地整備のあり方検討会の開催
- ・ため池のかいぼり実施
- ・農業用ダムやため池の魅力発信



QRコード添付による案内（設置案）



JR柏原駅南用地

② まちの拠点創造プロジェクト

- ・JR柏原駅南の県有地の有効活用
→サウンディング型市場調査の結果に基づき、事業者公募等を検討
- ・まちの居場所づくり～放課後みちくさプロジェクト～
→柏原高校の生徒などに、放課後等の空き時間に過ごせる居場所として、柏原スタジオを開放



柏原スタジオの高校生利用状況

③ 移住・定住促進支援事業〔新規〕

移住後の暮らしを体験できるツアーを実施する企業・団体等に、ツアー実施に要する経費を一部補助することにより、移住後の生活を明確にイメージすることで移住前後のギャップを減らすことになり、更なる丹波地域への移住・定住の促進を図る。



移住者と地元の交流会

④ JR加古川線維持・利用促進事業〔拡充〕

- ・ JR加古川線利用促進協議会（仮称）を設立し、貸切列車の運行、周遊サイクリングコースの造成、ランタンイベントの開催等の利用促進に取り組む
- ・ 久下村駅等でのJR加古川線リレーマルシェ(夜市)の開催
- ・ 環境学習列車の運行



久下村夜市で賑わう駅前広場

⑤ 学生等による地域貢献活動の推進

丹波地域において、大学生等の団体が自治会などの地域団体と連携して実施する自主的なまちづくり活動を支援
これらの活動により、学生等から丹波まちづくりの推進に資する提言等を得て、地域の課題解決や活性化を図る

高校生との竹林整備の竹材を活用したヤギ小屋製作
(関西大学 令和6年12月)

◆ 新しい産業、事業が生まれ続ける価値創発の風土づくり (59,625千円)

① 兵庫丹波ブランド農産物の生産振興強化〔拡充〕

新規就農者の技術力・生産力を高める取組や有機JAS認証取得支援などの丹波ブランド有機農産物の生産力強化



有機農産物イベント

② 先端技術等を活用したスマート農業の推進〔拡充〕

水稻等の土地利用型作物や丹波栗におけるドローン防除や施肥等のスマート農業技術の実証



水稻におけるドローン追肥

③ 兵庫丹波ブランド農産物の魅力発信

黒大豆・小豆・栗・山の芋に代表される兵庫丹波地域の農産物のブランド力をより強固なものとし、四季を通じた丹波地域の賑わいを創出するための取組を支援する。

- ・ 各種ブランド農産物フェアの開催
- ・ 丹波ブランド農産物を活用した新商品開発に対する経費を支援

各種フェア
(丹波栗、ぜんざい、山の芋)

④ 丹波の地酒魅力向上事業

管内酒造と連携し、地場産業である清酒業の振興を図る。

- ・ 丹波三宝ダム貯蔵酒事業
- ・ 管内酒造と連携した魅力情報発信



丹波三宝ダム貯蔵酒

⑤ 食文化ツーリズム・プロジェクト

丹波の食、食文化や食を育む風土などを体感できる食文化ツーリズムを推進する。

- ・大学との連携による食文化体験コンテンツの開発
- ・「食文化ツーリズムプロジェクトチーム」の運営



地元食材を味わう農家民宿での滞在

⑥ 四季の丹波「コト体験」の充実

丹波特有の地域資源を活かしたコト体験プログラムの開発・磨き上げを支援し、四季を通じた丹波地域への誘客促進を図る。



地元食材のお菓子づくり体験

⑦ 丹波広域観光の推進〔拡充〕

- ・「まるごと大丹波ドライブパス事業（仮称）」と連携した誘客促進
NEXCO西日本が実施予定のドライブパス事業（ETC車がエリア内の高速道路利用時に定額で乗り放題）と連携し、大丹波地域（2府県、6市1町）への誘客促進キャンペーンを実施する。
- ・着地型周遊観光バスツアー事業
管内のひょうごフィールドパビリオンや観光資源等を周遊する着地型周遊観光バスツアーを実施する。
- ・WEBサイト「ぶらり丹波路」、SNS等による情報発信



周遊観光バスツアー・黒枝豆狩り体験

⑧ 恐竜化石フィールドミュージアムの推進

- ・恐竜サポーターの拡大
- ・出前発掘体験(アウトリーチ事業)、モバイルスタンプラリー
- ・恐竜スポット周遊二次交通の整備〔新規〕
→大阪・関西万博に合わせて、鉄道駅からちーたんの館や恐竜化石発見地等の恐竜スポットまでのルートでグリーンスローモビリティの定期運行や、駅から自由に周遊できる電動トックトックや電動アシスト付き自転車の貸出を実施し、鉄道利用と誘客の促進を図る。
- ・情報発信・プロモーション



グリーンスローモビリティ



電動トックトック

電動アシスト
付き自転車

⑨ 丹波すぐれもの大賞 -TAMBA INNOVATION AWARD-

地元企業、団体等による優れた製商品や取組を顕彰し、発信する

⑩ 人材確保・産業立地推進事業

若者の地域定着やUJIターンの促進等に向けた取組を推進する。

- ・若者と地元企業とのマッチング応援事業
- ・地方紙を活用した丹波の地元企業の魅力発信 等



企業と大学等の就職情報交換会
(R6.2月開催)

⑪ “シリ丹バレー”構想の推進

内外の産学官民のネットワーク形成を進め、地域発イノベーションの創出・創発を促進するエコシステムの構築を図る。

- ・セミナーの開催、ウェブサイトによる情報発信
- ・コワーキング・スペースのハブ機能の促進
- ・ウッドバレープロジェクトの推進
 - 丹波産木材の生産拡大、流通・加工の促進等を目的に木材関連産業創造ネットワークの形成を図る。
- ・たんばLPS（Local Problem Solution）チャレンジ事業の実施
 - 地域課題解決に資するビジネスプランや地域資源を活用したビジネスプランを募集し、セミナー等による磨き上げを行うとともに、地域内外の企業や人材と連携して事業創造をめざす取組を支援する。コンテスト形式で地域内外に発信することで、地域住民や企業の起業・地域づくりに関する意識醸成・理解促進、異業種・異世代の交流促進とネットワーク構築等を図る。
 - － ビジネスプランの募集
 - ①ソーシャルビジネス部門...丹波地域が抱える課題を解決できるビジネスプラン
 - ②ローカルビジネス部門.....丹波地域が有する資源を活かした収益性を見込めるビジネスプラン
 - － ブラッシュアップセミナーによる磨き上げ
 - － 審査・プレゼン
 - － 都市部ピッチイベント（ビジネスマッチング）
 - － プラン実現の支援（事業創造チャレンジ補助）



たんばLPSチャレンジ事業 セミナーの様子

◆ 柔軟な働き方が可能な社会の形成（0千円(再掲)）

① “シリ丹バレー”構想の推進（再掲）

- ・ 民間副業人材の活用
 - 丹波管内企業が求める人材（IT技術者等）の確保を目指す。
- ・ ユース起業アカデミーの開催
 - 若者を対象に起業家精神を醸成させる「ビギナーコース」、ビギナーコースを受講済みでより深く起業のノウハウを学びたい人が対象の「アドバンスコース」を開設し、丹波地域でイノベーションを起こせる起業家たちの育成を支援する。



アドバンスコースの様子

◆ 創造的人材の育成・活用と地域文化力の向上（11,381千円）

① グローカル丹波2025推進事業

大阪・関西万博開催に当たり、丹波地域のフィールドパビリオンを効果的に発信するとともに、万博開催後も資源を活かした取組を持続的なものにしていく。

- ・ ひょうごフィールドパビリオンコンテンツ
連携創出セミナーの実施
- ・ モニターツアー（現地研修）の実施



グローバル丹波推進会議の様子

② 万博関連戦略プロモーション事業〔新規〕

大阪・関西万博開催を契機に、国内外の旅行客が多い大阪などにおいて効果的に丹波地域の万博関連事業を情報発信するとともに、特設HPやSNSを活用したプロモーションを実施し誘客促進を行う。



FPコンテンツ体験の様子

③ TAMBAのもりびと10万人計画〔新規〕

地域住民の認知度が低下している「丹波の森宣言」や「丹波の森づくり」の理念浸透を図るため、特に若い世代を対象とした積極的な広報を行うとともに、丹波2050地域ビジョンに基づく次代を担うもりびとを育成する。



「丹波の森創造プラン」

④ たんばユース躍動プロジェクトの推進

県立丹波の森公園をフィールドとして、森の再生を図るために必要な「動物」と「植物」の生態について学ぶとともに、県立ささやまの森公園においても、鳥類の生息を支える森の仕組み等を学ぶ。



ふるさと音楽ひろばでの演奏風景

⑤ シューベルティアードたんばの支援〔拡充〕

- ・ 2025大阪・関西万博開催記念事業
→ 著名なオーケストラを招いた記念コンサートの開催
- ・ ふるさと音楽ひろばへの支援

⑥ 集落文化発掘・体験事業〔新規〕

後世に集落文化を継承・発展させていくため、特集ホームページを作成して祭礼のプロモーション動画等を掲載し、地域内外へ情報発信することで、若手の意識醸成、祭礼への参加者や見学者等の関係人口の増加、祭礼の担い手確保を図る。



厄払い伝統行事「鬼こそ」

◆ 人と人とのつながり拡大と新たなコミュニティの出現 (4,974千円)

① 丹波2050地域ビジョン推進事業

地域ビジョンに掲げる将来像の実現に向け、シンボル・プロジェクトごとに設置された12のプロジェクトチームが主体的に事業の推進を図る。

地域ビジョンの推進組織である「プラットフォームTAMBA」では、全体のフォローアップのほか、プロジェクト間の連携やたんばユースチームの提案をプロジェクトへ反映することなどに取り組む。

② たんばユースチームの活動推進

丹波地域の次代を担う高校生・大学生・新社会人等からなる「第2期たんばユースチーム」を結成しており、若者の意見を取り入れながら丹波2050地域ビジョンを推進していく。



たんばユースチームの活動

③ “シリ丹バレー”構想の推進（再掲）

- ・スマート・コミュニティ・プロジェクト
デジタル技術を導入し、暮らしやすい持続可能な地域集落運営の実現に向けた研究を行う。
→地域集落でのデジタル技術導入にかかる機運醸成を図る。
- ・丹波型事業共創コミュニティ形成事業の実施
地元の起業家・事業者（事業共創パートナー）を中心に、地域主導で主体的に事業を発意して新しいビジネスを興し、地域内外の力を結集し事業を展開するためのコミュニティ形成をめざす。



「持続可能な集落運営に向けて～デジタル技術の活用を考える～」フォーラムの開催



関連連課題ミーティングツアー



Hyogo
Prefecture